

～19号～2014年8月1日発行～

*10代、20代、30代以上の不登校・ひきこもりの方の社会参加を考えるNPO法人です。

ポラリス通信

～不登校・ひきこもりの対応ニュース～

◆大学生の不登校・中退・卒業後の生き方を探している若者とその家族のためのブログ

<http://ameblo.jp/wakamono-ikikata-kurabu>

◆「若者生き方くらぶ」・【交流掲示板】

<http://wakamono-ikikata.bbs.fc2.com/>

■トカネット・今月の無料個別相談日のお知らせ（前日までの予約制）4名様

◆8月9日(土)13時～

◆8月19日(火)13時～

◆8月26日(火)13時～

◆8月31日(日)13時～

(上記以外の日にちを希望されます場合は、予約制、通常ご相談料金3000円です。)

[E-mail/tokanet1998-lucky-chance@docomo.ne.jp](mailto:tokanet1998-lucky-chance@docomo.ne.jp) (藤原) / 090-4953-6033(藤原)

7月2日発売の『週刊女性』(主婦と生活社)の「ひきこもり特集・出口への長い道のり」の取材を受けて、記事が記載されました。紹介いたします。

■道で向こうから人が歩いてくる恐怖■

小学生から40歳くらいまでの不登校、ひきこもりの家庭訪問支援を行う訪問サポート「トカネット」の代表、藤原宏美さんは、

「ひきこもりの相談を受けると、10代なら早く学校へ、20代なら就職、アルバイト…と思ってしまうが、社会参加とはまず、近所の人に“おはようございます”と言えるか。家にかかってきた電話に出られるか。宅配便に対応できるか。それができない人がたくさんいます。」

出口に向かう道のりは長く“できることを”少しずつ増やしていく積み重ねだという。

「人に対して安心感がなくなって子が多いんです。電車にも乗れない、道で向こう側から歩いてくる人も怖い。そんな状態から、ひとりでも心を許せる人ができれば、あの人も、この人も…と、安心できる人が増えていき、他者とのかわりに自信がもてるようになります。」

「トカネット」では、“メンタルフレンド”と名づけた大学生・社会人のサポーターを派遣している。

“友達のような対等のかかわりをする人”という位置づけだ。

サポーターは定期的に家を訪問し、信頼関係を築く。2人でカラオケや食事に出かけることを目標に、時間をかけて外に連れ出すという。「“何か月も遊んでばかり…”と焦る保護者の方もいますが、最初はとにかく遊ばせることが大事なんです。そのうちにふと、自分自身で将来のことを考えられるようになりますから(藤原さん)」 <記者 芹口由佳>

仕事づくりや得意分野の活動の試みとして応援します

居場所ワークの1つは、不登校情報センターを足場に各自が得意なことを生かした取り組みを始めることです。3人がそれぞれの取り組みを考えています。

8月の取り組み案内とともに紹介します。どの取り組みも当事者を想定していますが、親の方にも参加できますし、参加すれば話し合う材料になるでしょう。

このように自分で何かをしてみたい人は相談に来てください。

◎家族療法の勉強会

「大人の引きこもりを考える教室」の後の勉強会です。

◆日時：2014年8月10日（日）15：00～17：00

◇テーマ：Do more(もっとしなさい)と社会構成主義・ナラティブ・セラピーを採り上げます。

Do more とは、問題行動とされている行動をカウンセラーがもっとしなさいと勧めることです。これは、相手の内面に触れることによって出る言葉の場合もありますし、相手の行動をカウンセラーが阻止するために使用されることもあります。

社会構成主義やそこから生まれたナラティブ・セラピーでは、自己自身や、自分が抱えている現実が、絶対的なものではなく、自身で作っているものであるという考え方が存在しています。これらの考え方は、家族療法に大きな影響を与えたものですので、採り上げたいと思います。

◆講師：加倉井亮央（不登校情報センターつくば支部）

◎みんなのパステルアート教室

絵本『こどもトンネル、おとなみち』の作者、あべちえみさんの提案でパステルアート教室を考えています。パステルアートとは、穏やかで温かみのあるパステルのトーンと、それをパウダー状にして指で描くというアートです。子どもから高齢者のどなたでも、上手い下手に関係なく簡単に描けます。

不登校情報センターを会場に毎月1回定期的に開ければいいと思います。

◆日時（第1回）：2014年8月21日（木）13：00～15：00

◇時間：1時間半程度

◆対象：ご興味のある方

◇定員：3名程度

◆持ち物：筆記用具（ない方は情報センターのを使ってください）

◇参加費：1000円（材料費込み）

◎オークションの企画交流会

スタッフ役の三田佳幸さんからオークション（ヤフオク）の取り組み方をお願いします。不登校情報センターが取り組む体制をつくります。グループとして取り組む場合はどうするのかも含めて関心のある人で交流しながら個人的に役立つ交流会にします。

（１）売れそうな物があるときの即席型オークションを常設の形にめざします。各自の“企業秘密”を守りながら具体的な取り組み方を話しましょう。その際、新たにアカウントをつくるか、誰かのアカウントを利用させてもらい使用料を支払う方法にするか。立ち上がりの設定も大事です。

（２）ネットショップとオークションを組み合わせる運営も考えたいです。そうすると創作活動とむすびつくかもしれません。販売物の質と対応の信用が特に大事になります。実物の店舗販売はちょっと無理？

（３）オークションの買い物のしかたも紹介します。通信販売をよくする人がオークションの買い物に参加する、そこから参加する方法もあるでしょう。

（４）オークションは「在宅ワーク・居場所ワーク」の一つ、またはひきこもりの社会参加につながるかもしれません。

（５）８月２０日（水）午後１時～２時間程度。

◎東京ゲーム交流会 Tokyo Game Communication

◆日時（情報センター内の集まり）：２０１４年８月２０日（水）午後３時～５時ごろ。

◇第２回のゲーム日（毎月予定。実施日は未定）。

*参加費：お茶代を少々。

東京ゲーム交流会は、子どもたちに「遊び」を通して様々なことを学ぶ機会をつくる団体です。古い遊びから最近のデジタルなゲームまで、一人遊びの域でとどめず、交流やコミュニケーションのためのツールとしての付き合い方を一緒に考えていきます。その中で子どもたち自身でやりたいこと、できることをくみ上げ、自主性や真剣に取り組む大切さが身に着くようサポートしていきます。

■主な活動内容

- ・非電源ゲーム（アナログゲーム）での交流会
- ・トレーディングカードゲーム、テレビゲームの大会
- ・ネチケット、メディアリテラシーの話

◆TGC・コミュニティ：<http://tgc-community.seesaa.net/>

◇連絡先：tgc.shinkoiwa@gmail.com

◆今後のお知らせ

(1) 「訪問サポート（メンタルフレンド）説明と質問会」

●うちの子は誰にも会わないと、あきらめないで下さい。

メンタルフレンドとかかわって、不登校やひきこもりの子供たちが、学校やバイトなどを含めた多様な形で社会と繋がっていきます。

*テーマ：どうやって他人につなげていったらいいのか？

*日時：8月30日（土）、13時～15時30分。

*参加費：一人500円。 *対象：不登校・ひきこもりの子どもの親

(2) 第23回不登校・中退者の対応「ミニセミナー&質疑応答の会」

●何が子供におきているのか。●親が出来る事。●安心出来る人間関係を作っていくこと。●モチベーション・自己肯定感を上げていくこと。●学校復帰・バイト・友達づくりなどの社会参加につなげていくこと・・・など専門家と一緒に考えていきます。

*日時：8月23日（土）、13時～16時。

*参加費：一人500円

*対象：10代および20代前半の子供の親・体験者・学びたい人

(3) 「大人のひきこもりを考える教室」

*レクチャー：当センターの居場所ワークについて。

*日時：8月10日（日）、13時～15時。

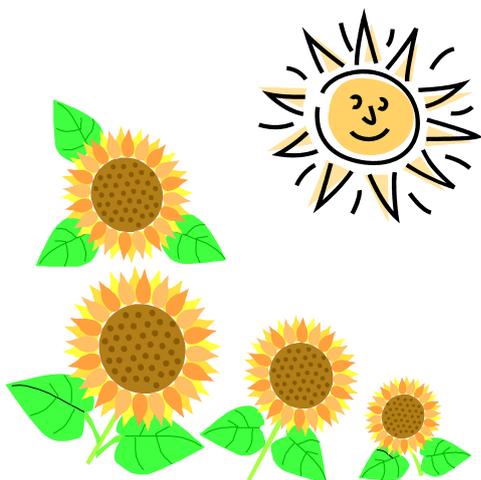
*参加費：一人500円

*対象：親・体験者・学びたい人

◎上記は、全て予約制です（連絡先は下記まで）。

◎場所：NPO 法人不登校情報センター（JR総武線「平井」駅南口・徒歩5分）

◎地図はHPを参照ください。



●NPO 法人不登校情報センター

●訪問サポート・トカネット

【発行元】 ポラリス通信編集部

〒132-0035 東京都江戸川区平井 3-23-5-101

連絡先

TEL／03-5875-3730／090-4953-6033（藤原）

E-mail／tokanet1998-lucky-chance@docomo.ne.jp

URL／<http://www.futoko.info/tokanet/>